

白杵にて撮影の、大林宣彦監督の映画たち

町中に『よい!スタート!』『カット!』の音が響きわたり、日本の古里は映画の古里になりました。



なごり雪 (2002年)

東京で暮らす50才の祐作(三浦友和・細山田隆人)。妻のとし子(宝生舞)に出て行かれ、絶望し遺書の準備をしていた。そんなとき、かつての親友・水田(ベンガル・反田孝幸)から彼の妻である雪子(須藤温子)が危篤であることを聞かされ、28年振りに故郷の白杵に向かった。彼の脳裏に青春時代の出来事が蘇る。祐作を一途に思い続けた雪子。その気持ちを知りながら深く傷つけた自分。そんな雪子に恋していた水田。東京の大学に向う自分をホームで見送り、春にはきっと帰って来て、とせがんだ雪子。雪子と最後に会ったあの日、雪子が失恋に悲観して自殺を図ったと思っていた祐作は、実は彼女が祝の中から白いビーズを取り出し、それを雪に見立てて降りさうとしたのだと気付く。雪など滅多に降らない温暖な白杵の町で、雪の日に生まれた雪子。雪が降ったら奇跡が起こると信じていた彼女は、それに叶わぬ願いをかけようとしたのだ。雪子との約束を守れなかった自分。雪子は俺が守ると言った水田の言葉。そして今、物語は一つの結末を迎えようとしていた...

出演：三浦友和・ベンガル・須藤温子・細山田隆人
販売元：NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン
時間：111分 ¥4,700(税別)

「うすき竹宵」の再現が市民総出で行われ、それは見事なラストシーンを彩りました。



22才の別れ
Lycoris 葉見ず花見ず物語 (2007年)

大林宣彦監督が「なごり雪」に続いて大分を舞台に描く、ノスタルジックな恋愛ストーリー。伊勢正三のフォークソングの名曲『22才の別れ』をモチーフに、人生の岐路に立った中年男の切ない別れの記憶と、そこに秘められた母娘二代にわたる哀しい恋の物語を綴る。主演は「踊る大捜査線」の筧利夫。福岡市の商社に勤める川野俊郎は1960年代生まれの44歳。37歳の同僚OL有美とは煮え切らない関係が続いていた。そんなある日、ひょんなことから『22才の別れ』を口ずさむ少女、花鈴と知り合い、バイトを辞めた彼女から援助交際をお願いされる。しかし、彼女の身の上を聞いた俊郎は、かつて22才の誕生日に別れた恋人、葉子との記憶を呼び覚ますことになるのだ...

出演：筧利夫・清水美砂・鈴木聖奈・中村美鈴
販売元：角川エンターテイメント
時間：119分 ¥4,700(税別)

News 大林宣彦 監督作品 最新作『野のななのか』
大ヒット上映中 主演/品川 徹・常盤貴子 配給/PSC・TME

白杵の石畳の小径を
ふらりと歩いてみると、
路地裏にたたずむ店。
お食事、お茶、
雑貨屋めぐり...
歴史をたどり、
映画の世界を歩く。
のんびりと過ごす
休日はいかが?



竹宵の灯り。
白杵人情の
織りなす光。

白杵ぶぐ。
商人たちが大切に
育んできた、
白杵の食文化。

時代への旅。
町並みは行み、
人は行き交います。

お問い合わせは、こちらまで

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 白杵市観光交流アラサ ☎ 0972-63-1715 | 吉丸一昌記念館「早春賦の館」 ☎ 0972-63-7999 |
| 白杵市観光情報協会 ☎ 0972-64-7130 | 国宝白杵石仏 ☎ 0972-65-3300 |
| 白杵市歴史資料館 ☎ 0972-62-2882 | ヤマコ白杵美術博物館 ☎ 0972-65-3080 |
| 旧藩主稲葉家下屋敷 ☎ 0972-62-3399 | 風連鍾乳洞 ☎ 0974-32-2547 |
| 野上弥生子文学記念館 ☎ 0974-62-4803 | クランク・イン ☎ 0972-62-9839 |

大林宣彦監督作品
撮影の里を訪ねて

「22才の別れ」
~Lycoris 葉見ず花見ず物語~
「なごり雪」





こころの記憶に還る場所

「なごり雪」「22歳の別れ」

～「なごり雪」葉見ず花見ず物語～

うすき口ケ地・散策帖

石畳の続く白杵市の魅力を余す事無く描いた、大林宣彦監督の映画「なごり雪」と「22歳の別れ」。「VOCES」葉見ず花見ず物語。人情味溢れる情景を撮影するのに、白杵の町はまるまるセットのように美しく、そのままの姿でロケは行われました。あちらこちらに点在する撮影スポットを、映画のワンシーンを思い出しながら、歩いてみてはいかがですか？

凡例

- 石畳区画
- 蛤小路
- JR 日豊線
- 総合案内板
- 公共駐車場
- 「なごり雪」ロケ地
- 「22歳の別れ」ロケ地

水田酒店 (小手川酒造)
水田の家。竹宵の夜、ぼんぼりの灯る通り。

大林宣彦の白杵映画の名残館「7ランク・イン」

野上弥生子 文学記念館

竹宵 ラストシーン

竹宵 町中が竹ぼんぼりに包まれる。

久家の大蔵 湯水浴での着替えシーンのセットが組まれた。

旧真光寺

雪が降る窓 (釘宮邸)
雪子の家。
白杵に雪を降りさせた窓。

主人公「花鈴」の実家

二王座 (旧真光寺前)
下駄の音が聴こえる、出会いと思いの坂。

上白杵駅
劇中では白杵駅の正面玄関として登場。

君といた町 (川沿いの道)
二人だけで歩いた夏。

秘密の小径 (海添川沿い)

白杵城跡 白杵公園

観光バス

港町商店街

お寺に登る (多福寺)
雪子の祖母の墓参り。

白杵駅

観光案内所

白杵市 歴史資料館

みちこ (福々)
祐作の実家。母が宮む喫茶店。

三重塔

旧丸毛家住宅

吉丸一昌 記念館

502

217

至 国宝白杵石仏

国宝白杵石仏 火まつり

日本の古里、

白杵に寄せて



日差しや風の流れが変わると人の暮らしが変わるから、この町は40年前から何も変えていないのです。この町には昔ながらの人情が残っていて、燕の巣がある屋根を切るよりは、車を取っ払ったから、白杵の町に白杵の雨が降りますよ。そんな白杵は日本の古里。僕たちは、映画で古里孝行をしたのです。

大林宣彦 (映画作家)



大林宣彦 & 白杵映画の名残館「7ランク・イン」。なごり雪の撮影をきっかけに、掛町にある百年以上もの歴史を持つ古民家が再生され、白杵映画の名残館として、映画の記念館&カフェになりました。*内装は、美術監督の竹内氏によるもの。

©イラスト協力: 相馬宏充さん 株式会社 PSC